



笛南中だより

甲府市立笛南中学校
文責 校長 井上有史

新学期スタート!

記録的な猛暑に加え、自然災害の多発、コロナ感染症第7波の急拡大等、日本全体が不安な日々を強いられた今年の夏でした。感染症については、国や自治体の方針により3年ぶりに行動制限は設けられなかったものの、夏を満喫するにはほど遠い期間だったように感じています。

さて、そんな中スタートした2学期ですが、始業式では今学期に向けた様々な抱負や期待に満ちた生徒達の姿を見ることが出来、とても嬉しくまた頼もしく感じました。私からは、「こんな時だからこそポジティブに生活することが大切」というお話をしましたが、逆に生徒達の姿から私の方がそのことの大切さを再認識させられる思いがしました。2学期は、桑葉祭をはじめとして、様々な行事や学習が予定されています。感染症対策を徹底しながら、実りの多い学期にしていくため、職員一同気持ちを引き締めて指導に当たることを確認しました。保護者の皆さまにおかれましても、是非ご理解とご協力をお願いいたします。

桑葉祭に向けて

いよいよ9月2日(月)より、桑葉祭に向けての準備期間がスタートします。

今年のテーマは、「リレー～つなげ伝統(バトン)を～」です。伝統を受け継ぎつつも新たな文化の創造に向け、全校生徒が一丸となって取り組んでいこうという気持ちが伝わってきます。

コロナ禍での開催は3回目になりますが、生徒達は毎年毎年工夫を凝らしながら、素晴らしい学園祭を創り上げてきました。今年も、生徒会執行部を中心に、それぞれの部門がアイデアを出し合いながら取り組みを進めています。生徒にとって学びの多い有意義な学園祭となることを期待しています。9月20日(火)文化部門、21日(水)体育部門の予定です。コロナのために昨年同様参観者の入場制限をしなければならない状況ではありますが、生徒の成長の様子を楽しみにしていただければと思います。



各種大会での活躍

夏季休業中は、7月下旬の県総体、県吹奏楽コンクール、8月上旬の関東大会をはじめ、様々な大会等が実施されました。3年生にとっては、今までの部活動の集大成としての大会となりました。残念ながら、男子バドミントン部は、県総体への出場権を得ていたものの、感染症のため棄権しなければならなくなり、とても悔しく思います。無事出場できたチームや個人は、猛暑の中熱戦を繰り広げました。女子バドミントン部は団体及びダブルスで、また水泳部は個人で、関東大会出場の快挙を果たしました。以下に主な大会成績を報告させていただきます。

山梨県総合体育大会

- バドミントン男子シングルス
 - 岩澤和志 2回戦敗退
 - 後藤 楓 2回戦敗退
- バドミントン女子シングルス
 - 和賀乃々子 初戦敗退
- バドミントン女子ダブルス
 - 長塚陽菜乃・遠藤ひなのペア 第1位
- バドミントン女子団体 第2位
- ソフトテニス男子団体 初戦敗退
- 水泳 松野泰知 100M背泳ぎ 第1位
- 〃 200M背泳ぎ 第3位
- 陸上 橘田 響 男子共通3000M 第7位

山梨県中学校水泳競技大会

- 松野泰知 200M背泳ぎ 第3位

山梨県吹奏楽コンクール

- 中学校部門Bの部 銅賞

関東中学校体育大会

- バドミントン部女子ダブルス
 - 長塚陽菜乃・遠藤ひなのペア 初戦敗退
- バドミントン部女子団体 初戦敗退
- 水泳 松野泰知 200M背泳ぎ 出場

快挙！全国最優秀賞

国土交通省が主催する令和4年度「道路ふれあい月間」推進標語（コンテスト）において、2年生の眞島李都さんが見事中学生の部全国最優秀賞（国土交通大臣賞）を受賞しました。受賞作品は



「この道が たくさん運ぶ 物語」。

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用啓発の各種活動を推進しています。この一環として、2022年度「道路ふれあい月間」の推進標語を広く一般から募集した結果、全国から2909作品の応募があったそうです。そんな多数の応募の中から、最優秀賞を受賞したことはとても名誉なことだと思います。

審査員をつとめた吉岡耀子委員（交通・環境ジャーナリスト）からのコメント

道路が物語を運ぶという想像は奥深いと思います。友達や家族、また見知らぬ人々が歩いたり自転車乗ったり車で通過したりする中には、楽しいできごとあり、辛いことありで、人の数だけの物語が行き来しているはず。

中学生なら決意や希望など、重大な心の物語も抱えて通学しているかもしれず、道路は自分と仲間の思いが交錯する場ですね。

なお、この作品につきましては国土交通省のHPにも掲載され、「道路ふれあい月間」の推進のため、幅広く活用される予定だそうです。

笛南中学区小中合同研修会

8月23日に笛南中学区の中道北小・南小の先生方と、小中合同の研修会を実施しました。本来ならば、笛南中学校に参集し対面形式で研修を行い、情報交換や課題解決に向けた話し合いを行う予定でしたが、感染症対策のため今回はオンラインでの実施となりました。

当日は、日本赤十字社山梨支部より講師をお招きし、赤十字活動に関わる貴重な講演を聴くことが出来ました。改めて世界平和の大切さや、今後の私たちの働きかけの重要性について再認識することが出来ました。また、「人道の敵」とされる「利己心」、「無関心」、「認識不足」、「想像力の欠如」が、多くの争いごとや差別に繋がっていることを学びました。小中連携を図りながら、今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。

JRCトレセン

8月2日、愛宕山少年自然の家において、JRC（青少年赤十字）リーダー養成トレーニングセンターが実施されました。本校からも2年生5名が参加し、他校の生徒と共に研鑽を深めてきました。この活動は、ある特定のメンバーだけがリーダーシップを取るのではなく、グループのメンバー全員が進んでグループの中で役割を持ち、仕事の内容や時と場所によって、ある時はリーダーとなり、またある時は協力者の立場を取ることが出来るように、メンバー全てが「リーダーシップの取り方を学ぶこと」を目指しています。参加した生徒は、仲間作りの方法やワークショップ等を通して、JRCの実践目標である「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」や、態度目標「気づき、考え、実行する」を達成するための様々なスキルを身につけていきます。今後の学校生活の中で、これらのスキルが発揮されることを期待しています。



防災の日

防災の日は1923年（大正12年）9月1日（土）に発生した関東大震災にちなんだもので、「関東大震災の教訓を忘れない」という意味と、「この時期に多い台風への心構え」という意味を含めて、1960年（昭和35年）に、内閣の閣議了解により制定されました。本校では、始業式の日地震を想定した避難訓練を実施し、災害に備えることを再確認しました。

今年8月上旬には、東北地方を中心に記録的な大雨が観測されました。大きな河川が氾濫し家屋や自動車が水没していく衝撃的なニュース映像を見て、不安や恐怖を感じたのは私だけではないと思います。本校の立地する地域も、複数の河川に囲まれているため、洪水が起こった場合甚大な被害が想定されています。これから台風シーズンを迎えますが、ご家庭におきましても緊急時の行動について、再度ご確認をお願いいたします。

